

第1学年〇組 「道徳」 学習指導案		指導者	〇〇 〇〇
主題名	個性の伸長	内容項目	1 - (5)
ねらい	自身の個性を認めると同時にその伸長に努め、より価値ある人生を追求しようとする態度を育てる。		
資料名	30 「本当の自分を見つける方法」 (作成委員会編)		
主題設定の理由	高校に入学して半年が経ったが、日直が記入して誰もが見られるクラスノートを見ると、「クラスメイト全員と話したいが、まだ話せていない」との記述が散見された。今後、人生を左右する決断を迫られた時に、自分がどのような人間かを理解し、アイデンティティを持つことが必要不可欠となる。そのため、自分自身の個性を認めて、高校生活において、個性を伸長してもらいたい。今後、どのような自分を作り上げたいかを考えるとともに、クラスメイトとの認め合いの場になることを目指し、本主題を設定した。		
学習指導過程			
	学習活動 (発問と予想される生徒の心の動き)	指導上の留意点	
導入	自分自身がどのような人間か自己分析する。 <10分> (1) 自分はどんな人間か、PMI チャート (P:Plus 長所, M:Minus 短所, I:Interesting 面白いところ) を使って考える。 <6分> (2) 指導資料を読み、「自己概念」や「アイデンティティ」について理解する。 <4分>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動をイメージしやすいように、指導者も自身のことを例として話す。 ・長所及び短所には含まれないが面白いと思った内容を「I:Interesting 面白いところ」に記入するように指示する。 ・容姿に関することを記入したり、誹謗中傷したりしないよう指示する。 ・指導資料を閉じて聞くよう指示する。 	
展開	「本当の自分」について考えを深める。 <23分> (1) 4人の班を作り、お互いの長所・短所・面白いところを伝え合う。 <10分> (2) 班内での意見を基に自己紹介文を作る。 <3分> (3) 自由に動き、班外の3人以上の人と自己紹介を行い、お互いの更なる個性を1つ伝え合う。 <10分>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の長所・短所・面白いところを伝えることができない生徒には、自分と違う点を考えるよう促す。 ・自己紹介に含まれていない、相手を認め、肯定するような個性を伝えるよう指示する。 	
終末	今後、どのような自分を作り上げたいか考える。 <17分> (1) 「今後、どのような自分を作り上げたいか」を書く。 <7分> (2) 「今後、どのような自分を作り上げたいか」を班内で発表する。 <8分> (3) 机を元に戻し、自己紹介用紙を画用紙に貼る。 <2分>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な行動の場面をイメージできているか机間支援する。 ・発表後にお互いに認め合う言葉をかけるよう促す。 	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分はどのような人間か」を知り、表現しているか。 ・「今後、どのような自分を作り上げたいか」を考えようとしているか。 		
備考	<教具> ワークシート・自己紹介用紙・画用紙		

私は（ ）です。

氏 名	P Plus 長所	M Minus 短所	I Interesting 面白いところ
本 人			